

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



学校だより

5月号

横浜市立谷本小学校
令和4年4月28日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



「子どもの健やかな成長や幸せを」

校長 高橋 哲雄

寿限無 寿限無 五劫のすりきれ 海砂利水魚の水行末 雲来末 風来末
食う寝るところに住むところ やぶら小路のぶら小路
パイポパイポ パイポのシューリンガン シューリングンのグーリングダイ
グーリングダイのポンポコピーのポンポコナーの長久命の長助

これは落語の「寿限無」というお話にでてくる子供の名前です。ある家に子どもが生まれてその子の名前をお寺の和尚さんにつけてもらおうと思いつきます。お寺の和尚さんをお願いしたところ、経典や故事から次から次へと教えてくれます。すると、あれをつけてこれをつけないと後で後悔したくないからと全部つなげて1つの名前にしてしまいます。この子が学校へ行くようになると、朝お母さんが子どもを起こすのも一苦勞、近所の子どもが学校に誘いに来ても名前を呼んでいるうちに学校が間に合わなくなるので先に行ってしまう、けんかをして泣かされた子が言いつけに来ても、最後は「あんまり名前が長いのでこぶが引っ込んだ。」というおちになります。

私は、このお話は、親の子どもに対する思いが伝わってきて好きなお話の一つです。楽しいお話ですし、図書館に本もありますので子どもたちも好きなお話ではないでしょうか。

5月は、5日にこどもの日もあり、子どもの健やかな成長や幸せを考えるいい機会となります。「寿限無」は極端かもしれませんが、子どもの命名には願いが込められています。例えば名前の由来などにも触れながら、子どもが自分の大切さを自覚して充実した日々を送れるよう思いを伝えていただくのもよいかもしれません。学校も引き続き子どもたちへの思いを大切にしながら教育活動に取り組んでまいります。

さて、谷本小学校に着任してひと月になりますが、驚いたのは筍です。ほんの少しの間にぐんぐん成長していきます。素晴らしい力です。ですが、竹林を維持、管理するためには手を入れなければなりません。職員が掘ったり、子どもたちの活動として6年生が掘ったりしました。スコップを使って掘っていきますが、なかなかの重労働です。1つのクラスが掘っても、その数日後にはまた筍は出てきます。子どもたちは、教室に戻ると、その筍を見ながら絵を描くなど、谷本小学校の春を存分に味わっていました。他では得難い貴重な体験です。さらに今年は、急遽ではありましたがたぬきクラブ（おやじの会）の皆様にもご協力をいただきました。ありがとうございました。